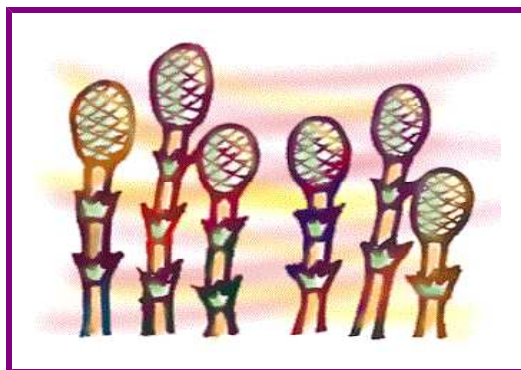


めぐみイエス・キリスト教会

2019年3月17日(日)第三主日礼拝
週報「通算第447号」



2019年標題聖句

第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年3月17日(第三主日礼拝)

第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時

司会・奏楽 鈴木竜実 牧師 奏楽 佐野 みゆき さん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌171「今日まで守られ」 p. 246

【交読文】 No.30 詩篇第96篇 p. 903

【賛美Ⅱ】 新聖歌172「望みも消え行くまでに」 p. 248

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.9「ひとつの心」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書17章24節～26節(新約p. 198上段)

【祈 禱】

【説 教】 《父よ、お願いします》 鈴木 竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1.「私と一緒におらせて下さいと言う場所」とは？

※エペソ人への手紙1章17節～21節・2章4節～6節 (新約p.341下段)

1:17 どうか、私たちの主イエス・キリストの神、すなわち栄光の父が、神を知るための知恵と啓示の御霊を、あなたがたに与えてくださいますように。

1:18 また、あなたがたの心の目がはっきり見えるようになって、神の召しによって与えられる望みがどのようなものか、聖徒の受け継ぐものがどのように栄光に富んだものか、

1:19 また、神の全能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたが知ることができますよう

に。

1:20 神は、その全能の力をキリストのうちに働かせて、キリストを死者の中からよみがえらせ、天上においてご自分の右の座に着かせて、

1:21 すべての支配、権威、権力、主権の上に、また、今の世ばかりでなく、次に来る世においてもとなえられる、すべての名の上に高く置かれました。

2:4 しかし、あわれみ豊かな神は、私たちが愛してくださったその大きな愛のゆえに、

2:5 罪過の中に死んでいたこの私たちがキリストと共に生かし、あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです。

2:6 キリスト・イエスにおいて、共によみがえらせ、共に天の所にすわらせてくださいました。

●ポイント2.「彼らが見るようになる為の私の栄光」とは？

※ヨハネの福音書14章12節～14節「私を信じる者は」 (新約p.191下段)

14:12「まことに、まことに、あなたがたに告げます。私を信じる者は、私の行なうわざを行ない、またそれよりもさらに大きなわざを行ないます。私が父のもとに行くからです。

14:13 また私は、あなたがたが私の名によって求めることは何でも、それをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。

14:14 あなたがたが、私の名によって何かを私に求めるなら、私はそれをしましょう。」

●ポイント3.「私が彼らに知らせ、これからも知らせる御名」とは？

※マタイの福音書1章20節～21節「主の使いの言葉から」 (新約p.1下段)

1:20 彼がこのことを思い巡らしていたとき、主の使いが夢に現われて言った。「ダビデの子ヨセフ。恐れないうあなたの妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです。

1:21 マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」

※使徒の働き4章5節～12節「使徒ペテロの証しから」 (新約p.213下段左側)

◎先週のメッセージの概要【あなたが私を愛されたように】

《今日の聖書箇所においてイエス様は、「一つとなる」と四回繰り返しています。それでは、主イエス様がここで言われる「一つとなる」こととは、一体どのようなことなのでしょう。それは、「新しい戒め」によってなのです。

「あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたが私の弟子であることを、すべての人が認めるのです。」

イエス様は、愛による一致において、一つになりなさいと言われたのです。しかも互いの間に愛があるのなら、全ての人認めるとも言われるのです。

しかし、主イエス様のこの預言にもかかわらず、現在は多くの教派と教会に分かれ、しかも互いに裁き合ったりしています。今は終わりの時代です。今こそ、もう一度教会同士が、聖霊様によって手と手を取り合うべきなのです。

さて、イエス様は「あなたが私を愛されたように」と言われましたが、実際には、父なる神様と御子イエス様との間のことであり、私たちには分かりません。

ルカは、イエス様がバル・ミツバを受ける前のことを短く書き記しました。「イエスはますます知恵が進み、背たけも大きくなり、神と人ともに愛された。」と。

また、イエス様が洗礼者ヨハネからバプテスマを受けられた時に、天からの声が聞こえました。「これは、私の愛する子、私はこれを喜ぶ。」と。

イエス様は、真に父なる神様から愛されたのです。そして「彼らをも愛された」と言われました。これは父なる神様が、イエス様と同じように弟子たちをも愛されたことを言われています。そして何と過去形が使われています。つまり先取りの祈りになっています。ゆえに私たちは、父から愛されているのです。

大切なことは、愛されなければ愛は分からないということです。人間世界には本物の愛はありません。唯一の本物の愛、それは神様の愛です。主イエス様の十字架の愛なのです。これが分からなければ、愛は分からないのです。

私たちが、もっともっと神様の愛に満たされ、そしてもっと人々に対して愛を持って接するならば、必ず、人々は知るようになるのです。本物の愛を。》

◎お知らせ

※次回礼拝は3月24日(日)です。また次回「聖書の学びと祈り会」は3月20日(水)午後6時15分からです。3月27日(水)はお休みします。